

令和 7 年 度

編入学生募集要項



独立行政法人国立高等専門学校機構

広島商船高等専門学校

〒725 - 0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 4272 番地 1

電話 (0846) 67 - 3177 (学生課入試係)

FAX (0846) 67 - 3029 (学 生 課)

ホームページ <https://www.hiroshima-cmt.ac.jp>

目 次

受験生のみなさんへ	1
編入学生募集要項	
募集学科，人員，編入学年次	6
編入学者の選抜方法・日程	6
入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	7
検定料免除	8
個人情報の取扱いについて	8
出願資格及び志望学科	9
出願期間及び出願先	9
提出書類	10
編入学者の選抜方法	11
口頭試問及び学力検査科目の 出題範囲について	12
編入学案内	13

受験生のみなさんへ

広島商船高等専門学校三つの方針

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

【求める学生像】

広島商船高等専門学校では、次のような人を待っています。

- (1) 学校で学習した基礎学力が身についている人
- (2) 学校の行事、生徒会や部活動に努力した人
- (3) 自ら考え、工夫し行動できる人
- (4) 将来、社会で活躍したいという夢のある人

求める学生像の4項目について、(1)は学力の3要素の 知識・技能、(2)(3)は 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度、(4)は 思考力・判断力・表現力に対応していません。

【入学者受け入れの基本方針】

本校では、「専門的知識と技術および豊かな人間力を有し、社会に貢献できる実践的で創造的な技術者」の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、以下の方法で選抜を行います。

○編入学試験（電子制御工学科および流通情報工学科）

編入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の二つで行います。

推薦による選抜は、在学する高等学校長から提出された推薦書および調査書並びに本校で実施する口頭試問および面接の結果を総合して行います。

学力検査による選抜は、提出された調査書並びに本校で実施する学力検査の成績および面接の結果を総合して行います。なお、学力検査科目は次に示す通りです。

・電子制御工学科

英語、数学、専門科目（数学・物理または電気基礎のどちらかを選択）

・流通情報工学科

英語、数学、小論文（流通または情報若しくは流通情報に関わるテーマを提示する）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

【本科共通】

広島商船高等専門学校のディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の 5 年一貫教育課程を編成しています（商船学科は 5 年 6 か月）。なお、評価はシラバスに示す評価割合に従って行い、60 点以上で単位認定しています。

- (A) 豊かな心、生きる力および規範意識を身につけるために、人文・社会科学系科目を設ける
- (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけるために、語学系科目を設ける
- (C) 専門分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけるために、自然科学系科目を設ける
- (D) 専門知識を修得し、実験・実習および演習・実技を通してその知識を応用できる能力を修得するために、専門教科を設ける
- (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけるために、実践的な科目を設ける

本科の学習・教育目標である「(A)豊かな心、生きる力および規範意識の育成、(B) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、(C) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得、(D) 専門的知識・技術とその活用力の習得、(E) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成」を実現するため、低学年は一般科目を中心とし、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加し、高学年は専門科目中心となる楔形のカリキュラムとしています。

全ての授業は、カリキュラムポリシーに基づいて、講義、演習、実験・実習など多様な形態で実施し、その評価については、試験、発表、態度、ポートフォリオなどにより評価しています。単位認定基準および標語については以下に示す通りです。

優：100～80 点、良：79～70 点、可：69～60 点、不可：59 点以下

各科目の到達目標・授業方法・授業計画・評価方法を Web シラバスにより公開し、学修の成果は学則に定める成績評価基準により評価しています。

【電子制御工学科】

電子制御工学科ではディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の 5 年一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの (A) (B) (C) は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、(D) は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」として電気・電子系分野、機械系分野、材料系分野、情報系分野、(E) は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。

- (1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知識を身に

つけるための人文・社会科学系科目を設ける

- (2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設ける
- (3) 電子制御分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけるために、自然科学系科目を設ける
- (4) 「Society 5.0」において活躍できる実践的・創造的メカトロニクス技術者を育成するために必要な科目として、電気・電子、機械、計測・制御、情報に関する科目を設置する
- (5) 専門知識を実践的活用することができるように、また、課題解決案の立案能力の取得や自ら学習する能力の取得を目指し、実験実習や卒業研究などを開設する

【流通情報工学科】

流通情報工学科ではディプロマポリシーに掲げる5つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の5年一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの(A)(B)(C)は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、(D)は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」としてビジネス基礎系分野や経済ビジネス系分野、情報系分野、(E)は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。

- (1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知識を身につけるための人文・社会科学系科目を設ける
- (2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設ける
- (3) 流通ビジネスまたは情報通信分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけるために、自然科学系科目を設ける
- (4) 「Society 5.0」において活躍できる流通・経営分野の管理・運営に応えられる技術者または情報技術者を育成するために必要な科目として、流通・ビジネスコースでは流通・物流・経営系科目や管理工学的手法などに関する科目を、情報通信コースでは情報基本科目および統計学などの科目を開設する
- (5) 専門知識を実践的活用することができるように、また、課題解決案の立案能力の取得や自ら学習する能力の取得を目指し、流通情報工学演習など演習系の科目や卒業研究などを開設する

ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）

【本科共通】

広島商船高等専門学校は、豊かな人間性と国際性および、強い精神力と高い倫理意識を持ち、将来社会において活躍するための基礎となる知識と技術を身につけ、さらに生涯にわたって学ぶ力を備えた人材を育成することを理念としています。本校ではこの理念に基づいて、学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身につけ、修得した学生に準学士の称号を授与します。

【養成する人材像】

- (A) 豊かな心、生きる力および規範意識を身につけている
人文・社会科学系科目
- (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
語学系科目
- (C) 専門分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけている
自然科学系科目
- (D) 専門知識を修得し、実験・実習および演習・実技を通してその知識を応用できる
専門教科
- (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている
実習・演習系科目および卒業研究

準学士課程では、本科の学習・教育目標である「(A) 豊かな心、生きる力および規範意識の育成、(B) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、(C) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得、(D) 専門的知識・技術とその活用力の習得、(E) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成」の各目標に対応した科目の履修により、電子制御工学科および流通情報工学科については167単位以上（一般科目80単位以上、専門科目87単位以上）を修得した学生に卒業を認定し、準学士と称することを認めます。

ここで、一般科目は(A)、(B)、(C)の科目、専門科目は(D)、(E)の科目が対応します。

上記単位の修得により、本科の教育目的「豊かな心、生きる力および規範意識の育成、地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、基礎科学や情報処理の知識・技術の習得、専門的知識・技術とその活用力の習得、社会に貢献できる創造力と実践力の育成」を実現します。

○電子制御工学科

電子制御工学科は、電気・電子、機械、計測・制御、情報の専門技術を中心とした幅広い基礎技術を身につけ、社会のニーズに応えられる技術者の育成を目的としています。本学科ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与してい

ます。

- (A) 豊かな心、生きる力および規範意識を身につけている
- (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
- (C) 電子制御分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけている
- (D) 電子制御に関わる専門知識を修得し、実験・実習および演習・実技を通してその知識を電気電子、機械、計測・制御、情報分野で応用・実践できる
- (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている

○流通情報工学科

流通情報工学科は、情報工学・管理工学に関する技術を身につけ、流通・経営分野の管理・運営に応えられる技術者の育成を目的としています。本学科ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与しています。

- (A) 豊かな心、生きる力および規範意識を身につけている
- (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
- (C) 流通ビジネスまたは情報通信分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけている
- (D) 流通ビジネスまたは情報通信に関わる専門知識を修得し、演習を通してその知識を情報社会や地域ビジネスで応用・実践できる
- (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている

令和7年度編入学生募集要項

募集学科、人員、編入学年次

学 科	募 集 人 員	編入学年次
電子制御工学科	若干名	第4学年
流通情報工学科 (情報・通信系/流通・ビジネス系)	若干名	第4学年

編入学者の選抜方法・日程

編入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の二つで行います。

- 1 推薦による選抜は、在学する高等学校長から提出された推薦書及び調査書並びに本校で実施する口頭試問及び面接の結果を総合して行います。
- 2 学力検査による選抜は、提出された調査書並びに本校で実施する学力検査の成績及び面接の結果を総合して行います。

事項	推薦による選抜	学力検査による選抜
出願受付期間	令和6年8月26日(月)～令和6年8月29日(木)	
受験日	令和6年9月10日(火)	
合格発表日	令和6年9月13日(金)	
入学確約書の提出期限	令和6年10月1日(火)	

令和7年度編入学者選抜においては、新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、選抜方法・日程等が変更になる可能性があります。

入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

広島商船高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課入試係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 (担当係) 学生課入試係 (電話番号) 0846-67-3177
(FAX) 0846-67-3029 (MAIL) form04@hiroshima-cmt.ac.jp

検定料免除

本校では、災害救助法適用地域における災害に伴う検定料免除の臨時措置を定めています。この制度の適用を希望する場合は、本校のホームページを確認のうえ、学生課入試係へご連絡ください。

ホームページアドレス <https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/>

個人情報の取扱いについて

出願にあたり提出された編入学願書や調査書等に記載されている個人情報及び編入学者選抜を通じて得られた個人情報は、次に掲げる目的以外に利用しません。

ア．編入学者選抜，合格発表，編入学手続きの連絡

イ．編入学後の教育・指導

ウ．編入学後の学生生活支援業務

（入学料・授業料の免除申請の審査，奨学金申請の審査）

エ．本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

オ．奨学後援会・校友会（同窓会）の案内

出願資格及び志望学科

推薦による選抜

(1) 出願資格

高等学校を令和7年3月卒業見込みの者で、下記の各条件に該当し、在学する高等学校長の推薦を受けた者

なお、卒業した(在籍する)学科は問いません。

- 一 人物が優れ、本校入学の意志が確実である者
- 二 高等学校第2学年及び第3学年における学業成績がともに上位の者

(2) 志望学科

志望できる学科は、電子制御工学科又は流通情報工学科のいずれか1学科とします。

学力検査による選抜

(1) 出願資格

下記の各号のいずれかに該当する者

- 一 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
(卒業した(在籍する)学科は問わない)
- 二 高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた者
(学校教育法施行規則第150条に該当する者)

(2) 志望学科

志望できる学科は、電子制御工学科又は流通情報工学科のいずれか1学科とします。

出願期間及び出願先

「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」とも、次のとおりとします。

(1) 受付期間

令和6年8月26日(月)から令和6年8月29日(木)16時まで(必着)

持参する場合は9時から16時まで受け付けます。

ただし、土曜日、日曜日及び祝日は窓口受付を行いません。

(郵送の場合も8月29日(木)16時までに必着のこと)

(2) 受付場所

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 4272 番地 1
広島商船高等専門学校 学生課入試係

提出書類

出願者は、次の書類等を在学（出身）高等学校長を経て提出してください。

編入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
入学検定料 (振込済証明書 貼付台紙)	金融機関に受験者名で以下の口座に振込してください。なお、振込手数料については各自でご負担ください。 振込先銀行：広島銀行木江支店 普通預金 3082220 受取人名義：(独)国立高等専門学校機構本部 ドクコクリコウトケンモンガ ッコワコワホフ 入学検定料：16,500 円 また、振込したことが分かる明細書を「振込済証明書貼付台紙」に貼り付けてください。
写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ってください。(写真は、正面上半身、無帽、無背景、縦4cm×横3cmで、3ヶ月以内に撮影した本人確認が可能なもの)
推 薦 書	【推薦による選抜志願者のみ】 本校所定の用紙により、高等学校長が作成してください。
調査書及び 卒業見込証明書 又は卒業証明書	在学(出身)高等学校所定の用紙により、在学(出身)高等学校長が作成してください。
そ の 他	ア.学力検査による選抜の「(1) 出願資格の二」に該当する者は、それを証明するものを提出してください。 イ.外国人は、市町村長の交付する住民票(在留資格が明示されたもの)又は在留カードの表面・裏面の両面をコピーしたものを提出してください。

出願に関する注意事項

- ア.郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「編入学願書等在中」と朱書きしてください。
- イ.出願書類等に不備のあるものは受け付けません。
- ウ.提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- エ.願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- オ.願書受付後は、出願書類は一切返還いたしません。
- カ.振込済の編入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

(ア)編入学検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

(イ) 誤って編入学検定料を二重に振り込んだ場合

なお、上記(ア)又は(イ)に該当する場合は、速やかに学生課入試係へご連絡ください。

問合せ先：学生課入試係 電話(0846)67-3177

キ．受験票は令和6年8月30日(金)に志願者あてに発送します。9月4日(水)までにお手元に届かない場合は連絡してください。

編入学者の選抜方法

推薦による選抜

(1) 口頭試問及び面接

ア 日 時 令和6年9月10日(火)13時から
(当日は12時40分までに検査場に集合してください。)

イ 場 所 広島商船高等専門学校

ウ 口頭試問検査科目 次頁を参照してください。

エ 検 査 時 間 40分程度

(2) 合格者の発表

令和6年9月13日(金)10時、合格者の受験番号を本校構内に掲示するとともにホームページにも掲載します。また、在学高等学校長及び本人あてに合否を通知(当日発送)します。(電話による問合せには応じられません。)

(3) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和6年10月1日(火)(必着)までに所定の事項を記入のうえ、「入学確約書」(合格通知に同封)を「書留郵便」で学生課入試係あてに提出してください。

学力検査による選抜

(1) 学力検査及び面接

ア 日 時 令和6年9月10日(火)10時から
(当日は9時30分までに検査場に集合してください。)

イ 場 所 広島商船高等専門学校

ウ 学 力 検 査 科 目 電子制御工学科 英語、数学、専門科目、面接
流通情報工学科 英語、数学、小論文、面接

工 配	点	英語 (100点) 数学 (100点) 専門科目(100点) 小論文(100点)
オ 面 接 判 定		3人の面接者の3段階評価(A、B、C)で2人の面接者がCを付けた場合は、不合格とする。

カ 学力検査及び面接時間

検査科目	時間
英語	10:00 ~ 10:50
数学	11:10 ~ 12:00
専門科目又は小論文	13:00 ~ 14:20
面接	14:40 ~

(2) 合格者の発表

令和6年9月13日(金)10時、合格者の受験番号を本校構内に掲示するとともにホームページにも掲載します。また、在学高等学校長及び本人あてに合否を通知(当日発送)します。(電話による問合せには応じられません。)

口頭試問及び学力検査科目の出題範囲について

電子制御工学科

検査科目	出題範囲
英語	コミュニケーション英語 ・ 、論理・表現 ・
数学	数学 、 数学
専門科目 (または を選択)	数学C(ベクトル)、物理(様々な運動、電気と磁気) 電気基礎

を選択する場合は、関数電卓を持参してください。

(ポケットコンピューターは使用を認めません)

流通情報工学科

検査科目	出題範囲
英語	コミュニケーション英語 ・ 、論理・表現 ・
数学	数学 、 数学
小論文	流通又は情報若しくは流通情報に関わるテーマを提示する

編入学案内

1 沿革の概要

本校は、明治31年(1898年)芸陽海員学校として設立しました。昭和26年文部省移管広島商船高等学校を経て、昭和42年広島商船高等専門学校となり、昭和60年流通情報工学科を設立、昭和63年電子制御工学科を設立し、現在商船学科を含め3学科で構成されています。令和7年度からは商船学科・電子制御工学科・流通情報工学科から商船学科・総合科学科の2学科体制に改編されます。

2 本校の教育目的と編入学の目的

本校は、国立の高等専門学校として「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」ことを目的としています。

編入学制度の目的は、高等学校の卒業生に広く門戸を開き、高度な専門教育を受ける機会を提供するとともに、在校生にもより一層の刺激を与え、教育の活性化を図ることにあります。

また本校では、平成17年4月より「専攻科」が設置されました。専攻科とは、高等専門学校を卒業した後、さらに2年間専門教育を受けることで独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から「学士」(大学卒業資格)の学位を取得することができる制度です。本校に編入学した方は、専攻科入試合格後専攻科へ進学することも可能です。

3 学科の概要

(1) 電子制御工学科

電子制御に関わる基本的な知識と技術を身につけ、高度工業化社会において活躍できる実践的メカトロニクス技術者を目指します。

電気・電子、機械、計測・制御、情報の4分野に関わる基礎知識を修得し、電気・電子回路、機械加工、コンピュータ制御に関する基礎技術を身につけます。加えて、「ものづくり」実習や卒業研究に取り組み、実践的技術力や創造力を身につけます。

(2) 流通情報工学科

流通・ビジネス系又は情報・通信系に関わる基本的な知識と技術を身につけ、ICT社会において活躍できるビジネスパーソン又は情報技術者を目指します。

情報基礎、データ解析・統計、経営などのビジネス分野の基礎知識を修得し、流通・ビジネス系では、物流、会計、経営、市場、管理などのビジネス分野の専門知識・技術を、情報・通信系では、ソフトウェア、システム、ネットワークなど、情報分野の専門知識・技術を身につけます。加えて、ビジネススキル・マナーの実技や卒業研究に取り組み、管理能力や課題解決能力を身につけます。

4 編入学の学年と授業科目

電子制御工学科及び流通情報工学科の第4学年に編入学し、卒業までの2年間学習します。ただし、授業科目によっては高等学校で履修していないなどの不足部分に対して補習授業を行うことがあります。

5 教育課程

一般科目（電子制御工学科及び流通情報工学科）

授業科目	単位数	学年別配当					備考	
		1年	2年	3年	4年	5年		
現代文 I	2	2						
古典 I	1	1						
現代文 II	2		2					
古典 II	1		1					
国語 I	2			2				
国語 II	1				1			
文学と思想	1					1		
地理	2	2						
歴史	4	2	2					
政治経済	2	2						
社会特論	3				1	2		
数学 I A	2	2						
数学 I B	2	2						
数学 I C	2	2						
数学 II A	2		2					
数学 II B	2		2					
数学 II C	2		2					
数学 III A	2			2				
数学 III B	2			2				
物理	6	1	2	3			電子制御工学科科目	
物理	4	1	2	1			流通情報工学科科目	
理科総合	4	2	2				電子制御工学科科目	
理科総合	6	2	2	2			流通情報工学科科目	
芸術	1	1						
総合英語 I	4	4						
総合英語 II	4		4					
総合英語 III	3			3				
英語表現 I	2	2						
英語表現 II	2		2					
英語表現 III	2			2				
発展英語 I	2				2			
発展英語 II	2					2		
保健体育 I	2	2						
保健体育 II	2		2					
体育・スポーツ I	2			2				
体育・スポーツ II	2				2			
体育・スポーツ III	1					1		
基礎実習	2	2						
合計	80	29	23	16	6	6		
特別学修							別に定める	
修得単位数合計		80単位以上						

注1 特別活動は、1～3年において、毎週1単位時間以上を実施する。

注2 芸術は音楽とする。

注3 特別学修は、広島商船高等専門学校教育規程第8条及び第9条の適用外とする。

専門科目（電子制御工学科）

	単位数	学 年 別 配 当					備 考	
		1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	電気数学Ⅰ	2				2		
	電気数学Ⅱ	2					2	
	応用物理	2					2*	
	電気磁気基礎	2		2				
	電磁気学	2				2		
	電気回路基礎	2		2				
	電気回路	2			2			
	電子工学	2			2			
	電子回路	2				2		
	電子回路設計	2					2	
	パワーエレクトロニクス	2					2	
	計測工学	2			2			
	制御工学Ⅰ	2				2		
	制御回路設計	2				2		
	システム工学	2					2*	
	情報演習	1	1					
	情報処理Ⅰ	1		1				
	プログラミング演習Ⅰ	1		1				
	情報処理Ⅱ	1			1			
	プログラミング演習Ⅱ	1			1			
	論理回路	2			2			
	計算機システム	2				2		
	設計製図	2			2			
	機構学	2				2		
	工業力学	2			2			
	材料力学	2				2		
	メカトロニクス	2					2*	
	電子制御工学基礎	1		1				
技術者入門	1		1					
技術者倫理	2				2*			
プレゼンテーション	2				2*			
工業英語	2					2*		
実験実習	12	3	3	3	3			
卒業研究	12					11		
小計	81	4	11	17	24	25		
選択科目	選択必修 ネットワーク工学	2				2	この内、1科目2単位以上修得すること	
	CAD/CAM	2				2		
	A選択 熱流体工学	2					この内、2科目4単位以上修得すること	
	通信工学	2				2		
	電気機器	2				2		
	B選択 制御工学Ⅱ	2					2	この内、1科目2単位までA選択の修得単位とすることができる
	電気法規	2				2*	2*	
電力工学	2				2*	2*		
機械力学	2				2*	2*		
特別学修							別に定める	
開設単位数計	18	18					特別学修含まず	
修得単位数計		6単位以上						
専門科目単位数計	87	4	11	17	26	29	特別学修含まず	
一般科目単位数計	80	29	23	16	6	6		
修得単位数合計		167単位以上						
合計	167	33	34	33	32	35		

注1 *は45時間学修単位（第13条第4項）を示す。

注2 選択科目におけるB選択の科目は、広島商船高等専門学校教育規程第8条及び第9条の適用外とする。

専門科目（流通情報工学科）

授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	
専 門 基 礎（情 報）	2	2					
専 門 基 礎（流 通）	2	2					
流 通 演 習	2		2				
社 会 人 基 礎 力 演 習	2			2			
ビ ジ ネ ス 基 礎	2				2		
流 通 情 報 工 学 実 習	2		2				
ビ ジ ネ ス 英 語 I	2				2		
ビ ジ ネ ス 英 語 II	2					2	
情 報 基 礎（情 報）	2			2			
情 報 基 礎（経 営）	2			2			
コ ン ピ ュ ー タ 概 論	2		2				
流 通 と 情 報	2		2				
知 的 財 産 基 礎	2			2			
統 計 学	2			2			
現 代 ビ ジ ネ ス	2				2*		
情 報 演 習	2		2				
財 務 会 計	2			2			
デ ー タ ベ ー ス	2				2*		
ス ケ ジ ュ ー ル 管 理	2				2*		
デ ー タ 解 析	2				2*		
流 通 情 報 工 学 演 習	4				4		
情 報 セ キ ュ リ テ ィ	2					2*	
コ ー ポ レ ー ト ガ バ ナ ン ス	2					2*	
プ ロ ジ ェ ク ト 管 理	2					2*	
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2					2*	
卒 業 研 究	12					12	
小 計	64	4	10	12	16	22	
流 通 情 報 シ ス テ ム 論	1			1			
特 別 学 修							別に定める
小 計	1			1以上			
情 報 系 科 目							
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎	2			2			
オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム 基 礎	2			2			
情 報 数 学	2				2		
ネ ッ ト ワ ー ク 基 礎	2				2		
プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用	2				2		
シ ス テ ム 構 築	2				2		
シ ス テ ム 開 発	2					2*	
ソ フ ト ウ ェ ア 開 発	2					2*	
シ ス テ ム 運 用	2					2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 演 習	2			2			
プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用 演 習	2				2		
小 計	22			6	10	6	
流 通 ・ ビ ジ ネ ス 系 科 目							
経 営 学 概 論	2				2		
会 計 学	2			2			
経 済 学 概 論	2				2		
商 法	2				2		
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2					2	
物 流 概 論	2			2			
物 流 施 設 計 画	2				2		
マ ー チ ャ ン ダ イ ジ ン グ	2				2		
在 庫 管 理	2					2*	
輸 送 計 画	2					2*	
簿 記 演 習	2			2			
小 計	22			6	10	6	
専 門 科 目 修 得 単 位 数 計	86	4	10	18	26	28	
	87			選択科目1を含む			
一 般 科 目 修 得 単 位 数 計	80	29	23	16	6	6	
修 得 単 位 数 合 計	166	33	33	34	32	34	
	167			選択科目1を含む			

注1 *は45時間学修単位（第13条第4項）を示す。

注2 特別学修は、広島商船高等専門学校教育規程第8条及び第9条の適用外とする。

6 クラブ活動

以下のようなクラブがあり、いずれかに所属し活動することができます。

〔体育部〕		〔文化部〕	〔同好会〕
陸上競技部	剣道部	写真部	SES 同好会
野球部	水泳部	英会話部	海友会
バレーボール部	漕艇部	軽音楽部	家庭科同好会
バスケットボール部	テニス部	茶道部	将棋同好会
サッカー部	バドミントン部	吹奏楽部	文芸同好会
ソフトテニス部	フライングディスク部		書道会
卓球部			電子計算機研究会
柔道部			モルック同好会

7 学生寮

通学が困難な学生の学業を支えるために、学生寮が設置されています。男子寮と女子寮とがあり、一室当たり同学年生1～2名で居住しています。(入寮期限は1年とし、再入寮手続きを毎年行います。学寮収容定員の満杯が予想される時などは、再入寮を許可しないことがあります。)

寮生活では、友人への思いやり、協調性、自立性等を養う貴重な体験が得られます。

項 目	金 額	備 考
寄 宿 料	800 円	月額(1人部屋)
	700 円	月額(2人部屋)
給 食 費	39,050 円	月額(1ヶ月30日の場合)
寮経費(光熱水料等)	10,000 円	月額(9月分・3月分徴収せず。 光熱水費高騰により改変 する場合あり)
食 器 代	4,000 円	入寮時のみ
郵 便 費	2,000 円	年額

8 入学年度に納める経費

入学時に納める経費は、電子制御工学科約 30 万円、流通情報工学科約 26 万円で、その内容は概ね次のとおりです。

	項目	金額	備考
全員が必要な経費	入学料 (入学時)	84,600 円	
	授業料 (半年分)	117,300 円	前期分(年額 234,600 円)
	日本スポーツ振興センター掛金 (入学時)	1,550 円	年額
	学級費 (半年分)	12,000 円	
	学生会入会金 (入学時)	1,000 円	
	学生会費 (半年分)	3,600 円	
その他経費	教科書代 (入学時)	(電子)約 33,000 円 (流通)約 10,600 円	
	作業服・作業帽・安全靴 (入学時)	(電子)約 16,000 円	
	奨学後援会入会金(保護者会) (入学時)	5,000 円	
	奨学後援会会費(保護者会) (半年分)	16,000 円	前期分 年額 24,000 円(後期分 8,000 円)
	傷害保険料 (1 年分)	約 10,000 円	任意で加入

在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

9 奨学金制度等及び入学料・授業料減免

奨学金制度及び入学料、授業料の減免制度があります。詳細については、下記へお問い合わせください。

問合せ先：学生課学生係 電話(0846)67-3023

(1) 奨学金

日本学生支援機構、近藤記念海事財団の無利子貸与の制度及び日本学生支援機構の有利子貸与の制度があります。

(2) 高等教育の修学支援新制度(入学料・授業料減免)

学ぶ意欲があり、世帯収入や資産の要件を満たし、支援対象と認定された場合には、「入学料・授業料減免」及び日本学生支援機構からの「給付型奨学金」を受けることができます。

「入学料・授業料減免」及び「給付型奨学金」の額は、家計に応じて決定されます(最大全額免除)。

(3) 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡、風水害等の災害を受けた場合等により入学料の納付が著しく困難と認められる場合には、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

(4) 授業料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡した場合や風水害等の災害を受けた場合により、納付が困難と認められる者には、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

10 卒業後の進路

(1) 就職状況

求人状況は下記のとおりです。卒業までに進学等を除いた全員の就職が決定しています。

求人情報

区 分	学 科 名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
求 人 数	電子制御工学科	705	821	898
	流通情報工学科	552	683	721

主な就職先

電子制御工学科	流通情報工学科
旭化成(株)	ソフトバンク(株)
アマゾンジャパン合同会社	NTT 西日本(株)
西日本旅客鉄道(株)	(株)NTT ME
(株)NTTフィールドテクノ	(株)NTT データフロンティア
(株)セガ・ロジスティクスサービス	富士ソフト(株)
(株)日立ビルシステム	(株)日立ハイテクフィールドディング
キヤノンメディカルシステムズ(株)	CTC システムマネジメント(株)
ENEOS(株)	CTC テクノロジー(株)
中国電力ネットワーク(株)	NEC フィールドディング(株)
三菱電機(株)受配電システム製作所	(株)ハイマックス
日本オーチス・エレベータ(株)	(株)メンバーズ
(株)岡山村田製作所	ジョンソンコントロールズ(株)
SCREEN SPE サービス(株)	日東電工(株)
トーテックアメニティ(株)	リコージャパン(株)
メタウォーター(株)	(株)イシダ
広島精密工業(株)	Evand(株)
富士電機(株)	モラブ阪神工業(株)
矢崎総業(株)	旭化成(株)
呉市役所	(株)MCAT
	NRS(株)
	ケイヒン(株)
	宇徳(株)
	(株)ロジスティード西日本
	川崎陸送(株)
	サントリープロダクツ(株)
	ダックシステム(株)
	(株)レニアス
	デルタ工業(株)
	NS ウェスト(株)
	光洋機械産業(株)

(2) 進学状況

卒業後、さらに勉強をしたいと希望する学生が増えています。そのような学生は、本校の専攻科へ進学または大学3年生へ編入学することができます。主な進学先は次のとおりです。

本校専攻科への進学状況

課 程	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合 計
海事システム工学専攻	2	2	3	7
産業システム工学専攻	6	4	2	12
合 計	8	6	5	19

大学への編入学状況

学科	編 入 学 先	学部・学科/課程	編 入 学 者 数			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
電子制御工学科	愛知教育大学	学校教員養成課程	1			1
	東京大学	システム創生学科		1		1
	東京理科大学	工学部電気工学科		1		1
	東京工業大学	工学院学部 機械系学科			1	1
	豊橋技術科学大学	工学部 機械工学			1	1
	豊橋技術科学大学	工学部 電気・電子情報工学			1	1
	長岡技術科学大学	工学部 電気電子情報工学分野			1	1
流通情報工学科	明星大学	教育学部		1		1
	長岡技術科学大学	工学部環境社会基盤工学課程	1			1
	長岡技術科学大学	工学部情報・経営システム工学課程		1	1	2
	広島大学	経済学部		1		1
合 計			2	5	5	12